赤城山学習指導者用参考資料（案）

　　　　　　　　　　　　　　　　令和　年　月　日　（　）曜日

　　　　　　　　　　　　小・中学校　　　組　　　番（　　　　　　　　）

１．目標

　〇　赤城山登山や覚満淵散策を通して、赤城山の特徴や動植物の様子、山や森林の役割や、環境保全の取り組みについて気がついたことや学んだことをまとめよう。

２．コースと時間（例）

　　(1)地蔵岳登山　＜２時間程度＞

　　　出発（新坂平・小沼駐車場）→地蔵岳山頂　→下山（新坂平・小沼駐車場）

 (2)覚満淵散策　＜１時間３０分程度＞

　　　出発（ビジターセンタ－）　→覚満淵一周　→到着（ビジターセンター）

３．学習計画**（各学校で活用してください）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動内容 | 　　　　　　備考 |
| 事前 |  |  |
| 当日 | 地蔵岳登山　覚満淵散策 |  |
| 事後 |  |  |

４．赤城山について調べよう

　　**都道府県市町村：群馬県前橋市の北部に位置する。**

**山：7つの山の総称のこと**

**風：冬の風　赤城おろしが有名　（地元では「からっかぜ」と呼ばれている）**

**川：大きい川は利根川**

５．山の３つのつながりについてまとめよう

(1)山と水とのつながり

　①二つの湖

　　**大沼（オノ）と小沼（コノ）**

**二つとも火山が爆発した時の穴**

　②覚満淵の水は無くならない。どうして覚満淵に水が貯まるのか。

　　**常に湧き出しているから。ミズナラの木（保水能力）。**

(2)山と生き物とのつながり

　①山と植物（緯度と垂直分布、気候との関連性）

　　**ドングリがいっぱい（クリも多い）**

**ミズナラの木が赤城山に多い。**

**あたりのドングリとハズレ（中に虫）のドングリがある**

**見分け方：水の入ったコップにドングリを入れる。**

**沈むドングリ＝あたり**

**浮くドングリ＝ハズレ**

　②山と動物（森林性の動物、標高差をうまく利用している動物）

山の生き物、どんな生き物がいるかな？

　　**イノシシ、熊、鹿、サル（森がなくなると生きていけない＝木がないと生きていけない）、**

**ムササビ：雑食。体中毛に覆われている。おなかは白い。**

**ほ乳類。しっぽは大きい。夜行性。（モモンガと呼ぶ地域もある）**

**人間にできない能力＝提灯で照らすと赤く見えて、ある妖怪に見えた。**

**ムササビがモデルになった妖怪。＝「天狗」**

**木から木に移るときに前足と後ろ足の間に膜ができて飛ぶことができる。**

**群馬は森が多い。**

**神社に行くと天狗。天狗はムササビがモデル。**

**トンボ：秋に赤城山に多い。肉食。空中の虫を飛びながら捕まえて、飛びながら食べる。**

**ヘビ：泳ぐのがうまい。木にも登れる。体中鱗で覆われている。鋭い歯、毒。**

　③シカの食害防止ネットがある。これについてどう思うか、自分の考えを書こう。

④赤城山に生き物がいたら、その生き物をどうしていくのか考えよう（大切）

　　生き物の足跡、フン、羽根などの手がかりを探し、見つけたものをメモしよう

(3)山と人とのつながり

　①山と人とのつながりを歴史で振り返ろう

**赤城の名前の由来**

　　**・（説１）**

**赤城山の神様と日光の男体山の神様がけんか**

**化身で戦う　オオムカデVSヘビ**

**そのときに流した血が山を真っ赤に染めた。**

**・（説２）**

**赤い城**

**赤＝水（昔、位の高い人に「水」を献上した）**

**城＝器**

**そこから赤城の由来**

**鳥居峠の下にわき水が出ている。**

**赤城山は水の山**

　　**狸（タヌキ）：けものへんに里と書く**

**里の方にもいる動物。田や畑があって里山の方にいる**

**熊（クマ）　：とても頭のいい動物**

**能力の能に、下に点が４つ　　，、、、**

**点4つは足を表す。能力があって足がある。**

**公魚（ワカサギ）：**

**「公魚」は江戸時代、霞ヶ浦の北にある麻生の藩主が毎年、徳川11代将軍徳川　　家斉へ年賀に参上するときに串焼きのワカサギを献上し、将軍家御用達の魚「御公儀の魚」であったことに由来する。**

②これからの山と人とのつながりを考えよう

　　SDGｓとの関連

　＜参考＞

ビジターセンター

　　標高1350m程度

　　100mで0.6℃下がる　　　→1,000mで6℃下がる

　　みんなの学校の標高は何mか調べ気温差を出してみよう

６．地蔵岳登山

　(1)木道があるのはなぜだろう。

(2)山頂にお地蔵さんの（首　）がない。

　なぜだろう。

(3)山頂から見える大沼は「カルデラ」と呼ばれている。

　「カルデラ」とは何か，調べてみよう。

７．覚満淵散策

(1)森林の中の風の強さと明るさ、涼しさなどを感じ、わかったことをまとめよう

　①森の中は雨や風の影響が少なくなる。

　　直接体に当たらないため。

(2)ドングリを見つけよう。ドングリの木はコナラ、大きいのはミズナラ。

　ドングリは「クマ」のえさにもなってるよ

(3)赤城国体昭和天皇の碑に書かれている文章を書き写そう。

　**「秋暮れて　木々の紅葉は　枯れ残る**

**寂しくもあるが　　覚満淵は」**

まとめ

　(1)今日一日学んだことを振り返り、感想を書こう。